

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

神戸大学

前期日程

科目

英語

総括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

昨年度に引き続き従来型の読解問題3題＋英作文1題での出題。全体の難易度もほぼ昨年並。

読解問題は、大問Ⅰと大問Ⅱが論説文、大問Ⅲが会話を含む物語文である点も例年通りの出題だった。素材文の英文量は、読解問題3題の合計が昨年度の約1860語から約1810語へやや減少したが、読解問題3題の小問数の合計は、昨年同様13問、和訳や説明問題の記述量も昨年並みであった。問題形式は下線部和訳、内容説明、空所補充、下線部同意表現選択、内容一致など、ほぼ例年どおりの出題だった。

英作文は、グラフを使った自由英作文で、(1)がグラフ内の任意の2項目の比較、(2)が自分の考えを書かせる問題で、昨年度と非常によく似た内容だった。指定語数も、(1)が40語、(2)が60語、合計100語で、昨年度と同様であった。

〈特記事項・トピックス〉

昨年度とほぼ同様の出題であった。一部参照箇所範囲の特定が難しいと思われる説明問題（大問Ⅰ、Ⅱ）があったが、全体的にオーソドックスな良問だった。

〈合格への学習対策〉

読解問題では、基本的な語彙と構文を把握する力を身につけた上で、文脈を丁寧に追いながら英文を読む習慣をつけることが大切。下線部和訳では英語構文を正確に見抜く力が、同意語選択問題や空所補充問題では文脈から当該語句の意味を推測する力が問われる。英作文では、何よりも基本例文を繰り返し書いてマスターすること。そうして習得した基本英文を使って、英文中の語句や図やグラフなどを説明したり、それらに対する自分の考えを記述する練習を積んでおこう。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	分野・テーマ(表題)	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
I	記述選択	読解総合(論説文) 「ドゥームスクロールが心身に及ぼす影響」	問1 同意語句選択(選択) before you realize it「気付かないうちに」は慣用表現で、itは主節の内容を受ける。下線部のitは、ここでは直後のhalf an hour has disappearedを受けている。 問2 条件付き下線部和訳(記述) doomscrollingは第2段落第1～2文の内容に基づいて説明する。It turns out that SV…は「…と(いうことが)分かる;判明する」、far from being…は「…どころではない」という意味。the people and world around usはaround usがthe people and world「人々と世界」を修飾している点に注意。 問3 空所補充(選択 組み合わせ) (A)は直後の2文に対比関係が成り立つので、WhereasかWhileが入る。(B)は直後の文が完全文なのでthatが入る。(C)は前後の内容、(D)は直後の2文からいずれも因果関係が読み取れるので、(C)にはAs a result、(D)にはBecauseが入る。(B)さえ分かれば正解に辿り着けるので、それほど難しくはない。 問4 同意語句選択(選択) (a) succinctlyと(c) imminentは受験生にとって難語であり、どちらも文脈から消去法で解く必要がある。(b) drawnは基本語なので確実に正解したい。	標準

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

Ⅱ	記述 選択	読解総合（論説文） 「生物多様性の減少」	問5 内容一致（選択） （あ）は第4段落から第7段落までの内容を要約しており、本文の主旨として選択できる。（え）は第6段落に合致し、ドゥームスクロールが悪影響を及ぼす理由が簡潔にまとめられている。 問1 下線部が重要である理由の説明（記述） 下線部(1)の「動植物の遺伝的多様性」は、第3段落で within-species diversity や the variation between individuals of the same species と言い換えられている。その直後に enabled a population to better adapt to changes in its environment ...とあり、遺伝的多様性によって「可能となる」ことが書かれている。何かを「可能にする」のであればそれは重要であると言えるので、その後の内容も加味してまとめると解答が得られる。「多様性があれば、集団は環境の変化によりうまく適応できるようになるから」だけでも許容されるかもしれない。 問2 空所補充（選択） （a）halt を入れると、「遺伝的多様性の喪失を停止したり逆転させたりもできるかもしれない」という自然な流れができる。（b）遺伝的多様性を「維持する」が正解。それ以外は文脈に合わない。（c）第6段落第2文以降に、それぞれのケースに合わせた特別な保護の戦略が書かれているので customized が適切である。（d）arctic fox の保護には同じ獲物を奪い合っている red foxes を「取り除く」ことが有効となる。 問3 this の内容を明らかにして下線部和訳（記述） crisis と effects が represents の目的語。that the planet is facing は crisis を修飾する関係代名詞節。This の内容は第5段落第3文の genetic diversity loss occurred even when no disturbances were reported, suggesting a background level of genetic diversity loss across species の内容をまとめて訳文に組み込む。	難
Ⅲ	記述 選択	読解総合（物語文） 「交際相手の父親に会いに行く場面」	問1 内容説明問題（記述） the opposite の内容を前段落最終文をヒントに日本語で説明する。 問2 下線部和訳問題（記述） would の後ろに前文に含まれる述部を補って日本語に訳す。 問3 下線部言い換え（選択） （a）suffer はここでは自動詞の「我慢する、忍ぶ」の意味。（b）Wouldn't you の後には前文の be 以下と同等の内容が省略されている。 問4 内容一致問題（選択） （あ）が波線部(a)の次の段落の4文目、（お）が下線	標準

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

IV	記述	条件英作文 「4カ国の電力供給源の比較」	部(2)の次の文の内容にそれぞれ一致する。 問1 グラフから任意の2カ国を選び、その電力供給源について、40語程度の英語で比較する。具体的には、フランス、ブラジル、日本、南アフリカの2024年における化石燃料、原子力、再生可能エネルギーの割合を比較するとよい。 問2 化石燃料による電力供給に制限を設けるべきか否かについて60語程度の英語で書く。「設けるべきである」の場合は、化石燃料を無制限に使用することは地球温暖化のさらなる悪化に繋がるなどの意見を書けばよいだろう。「設けるべきではない」の場合は、国ごとに事情が異なるため、制限するにあたっては技術や資金の提供が必要であるなどの意見を書けばよいだろう。	標準
-----------	----	-------------------------	--	----

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。

出典・資料 ※該当する場合記入

III	Erich Segal, <i>Love Story</i> , First published January 1, 1969
-----	--